

こんにちは 松坂みち子です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.387 2018.11.7 連絡先 402-1622 >



高すぎる国民健康保険料を引き下げ、住民 と医療保険制度を守ります

日本共産党が国民健康保険政策を発表

- 1、高すぎる国保料を「協会けんぽ」並みに引き下げます。
 - (1) 全国知事会なども強く要望している公費の投入で保険料を引き下げます
全国知事会は国保料を「協会けんぽの保険料並み」に引き下げるために、「1兆円の公費負担増」を政府に要望しました(2014年)。日本共産党も賛成です。
 - (2) 「人头税」と同じ「均等割」「平等割(世帯割)」を廃止し、国保料を協会けんぽ並みに引き下げていきます
全国で「均等割」「平等割」として徴収されている保険料額はおよそ1兆円です。公費を1兆円投入すれば「均等割」「平等割」をなくすことができ、多くの自治体では協会けんぽ並みの保険料にすることができます。そのうえで、「所得割」の保険料率の引き下げなどもすすめ、所得に応じた国保料への改革を進めます。
- 2、国による保険料の免除制度をつくる——困ったときに、困った人を助ける国保制度に
- 3、無慈悲な保険証取り上げや強権的な差し押さえをやめる
- 4、安倍政権による「国保都道府県化」を利用したさらなる保険料値上げを許さない



20歳台の若者4名を含む19名で、2泊3日の沖縄連帯ツアーに行っていました。

前半は雨、しかも外に出たときに限って風を伴い強くなつて、お天気には恵まれませんでしたが、本島南部の戦跡巡りでは激しい地上戦でまさに地獄だっただろうと想像し、最北端の辺戸岬からは与論島を眺めてこの海峡に沈んだ疎開船に思いを馳せ、移動の車の中で聞いた護郷隊の話では14歳の少年に志願させてゲリラ活動をさせていたことに改めて怒りを持ち、平和祈念館で見た「戦争をするのが人なら、それを止めるのも人である」という言葉を強く胸に留めました。

辺野古で座り込みに参加したときに発言を求められた若者の、「報道されない沖縄の現実を自分が伝えたい」「平和で幸せだと思っていたけど、沖縄があつてのことだと知った」との言葉に、頼もしさを感じました。「沖縄を返せ」を大合唱して連帯の思いを強めました。



